

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	法人理念と一緒にあるが、人の喜びを我が喜びとし、我が喜びを心の糧に、人を思いやり支えあい助け合いの精神である。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		理念について、管理者・職員でもっと話し合いの場所を設けていき、職員のモチベーションアップと利用者のサービスの向上につなげていきたい。
	目のつきやすい場所に理念を掲示して職員の意識付けをしている。毎日の朝礼・夕礼 毎月のリーダー会議 2ヶ月に1回の職員全体会議などを通して定期的に理念を共有するようにしている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		地域との連携を密にし、互いに思いやりをもって助け合っていけるよう取り組んでいきたい。
	ホームページに掲示している他、施設内の見えやすい場所に理念を掲示している。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	日常生活の中で散歩に出かける時などは積極的に挨拶を行っている。又散歩途中の方が立ち寄って一緒にお茶を飲むこともある。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		夏祭り等のイベントの案内をし参加を呼掛けていく。地域の行事や、イベントに参加していきたいと考えている。
	運営推進会議を通して、地域の活動について交流を始めたところである。近くにある幼稚園と交流をさせていただき、お互いに訪問している状況である。今後は地域の活動に参加していきたいと考えている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>施設内に地域交流室を設けており、地域の高齢者やご家族が気軽に相談に来られるように取り組んでいる。</p>		<p>ご家族や、地域の方と介護技術や・認知症ケアについての勉強会を実施していきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価及び外部評価の内容についてしっかり把握し、改善すべき点については、職員会議等を通して共通認識の上で取り組んでいく。</p>		<p>職員全体で、自己評価に取り組み、外部評価の意味について共通理解をしていきたい。</p>
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、開設10ヶ月が経過している中で1回開催した。</p>		<p>今後委員会開催数を増やし、委員会の人たちとの意見交換をする事で、利用者のサービス向上に努めていきたい。</p>
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村を訪問したときはその時の状況等を報告している。市の担当職員の方も必要に応じ施設を訪問され意見交換を行っている。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見については、管理者や介護支援専門員など一部の職員で学ぶ機会はあるが、職員全体としては理解されていない。</p>		<p>成年後見制度や、権利擁護について勉強会を開き、職員の知識向上を図っていきたい。</p>
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内では虐待が起こらないように注意を払い防止に努めているが、高齢者虐待防止法について学ぶ機会が設けられてなく、対応方法等について事業所で周知徹底されていない。</p>		<p>高齢者虐待防止法について勉強会を開き、職員の知識向上と、共通認識を図っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に、契約書及び重要事項説明書について詳しく説明し、ご家族の不安や疑問が残らないように対応している。解約時については、ご家族としっかり話し合いをもって解約するように努めている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>今のところご利用者から大きな苦情はないが、意見や疑問に思っていることがあるような時は、適時意見交換の場を設け、対応している。</p>	<p>利用者が気軽に職員に対し意見を言えるように、日頃から丁寧な接し方に心がけるようにしていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会に来られた時等に随時状況報告をしている。必要に応じ電話にて連絡を取っている。</p>	<p>毎月近況報告という形で定期的に利用者の状態や・状況を報告できるように取り組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族から大きな苦情は今のところないが、意見や質問があった時は出来る限り早く対応するようにしている。又面会に来られた時は常に問いかけてコミュニケーションがとれるよう努めている。</p>	<p>定期的にご家族との面談の場を設け意見交換をしていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員全体会議、責任者会議、担当者会議、カンファレンス等を通して、職員の意見や要望を聴くように努めている。</p>	<p>会議の場だけでなく、管理者、職員間の話し合いの場を多く設けていきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の体調不良や、職員の急な休みの時などはリーダーを中心に調整するよう努めているが、余裕をもった人員の確保ができていない。</p>	<p>安定した職員の確保と職員間の連携を強化していきたい</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>なるべく離職がないように努めている。新しい職員には利用者が混乱しないように会話を多く取り入れ馴染みの関係が作られるよう努めている。</p>	<p>職員が変わっても統一した援助を行い、利用者が混乱しないように対応する。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内においては担当職員を中心に身近な課題について勉強会を実施している。外部の研修については、認知症実践者研修については毎回申し込んでいる他、他の研修についても交替で参加するようにしている。</p>	<p>外部での研修に積極的に参加するようにし、施設内では定期的に勉強会を実施していく。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>行事の案内などをもって定期的に事業所を回り、意見交換をしている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩室を確保し、仕事から離れて気分転換できるような環境に努めている。コミュニケーションを通して職員の不安を取り除き、能力に合わせた配置や配分に努めている。</p>	<p>定期的に個別面談を実施し、職員の悩みやストレスを解消できるように環境を整えていきたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>施設内の勉強会、外部研修、個人の自己啓発による資格取得などについては積極的に支援している。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>できる限りご本人の話しやすい環境の中で、悩みや、不安なことを話していただき解消できるよう努めている。</p>	<p>より信頼関係を深め、聞き洩らしのないように努める。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族が困っている事についての状況や経緯についてしっかり話を聞き、家族のニーズをしっかりと把握した上で、事業所としてどのような対応ができるか話し合い、安心して利用できるよう努めている。</p>	<p>同上</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>困っている内容をしっかり聞いて的確なサービスにつながるよう努めている。入居希望の時は、本人・ご家族のニーズに合っているか見極めるため、体験利用をしていただいている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族に状況をお聞きし、ご本人が見学する時は気に入るような環境や雰囲気を作れるよう努めている。対応する職員も最初はできる限り固定するようにしている。</p>		<p>本人の話をしっかり聞き、安心感を持ってサービスが提供されるように勧めていく。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常の作業を一緒に行い、共に過ごすようにしている。利用者から学ぶ事も多く、お互いにいきいきとした生活が送れるよう努めている。</p>		<p>言葉づかいに注意し、利用者から学ぶ気持ちを大切に支援していく。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に来られた時など利用者の様子をできるだけ詳しく伝えながら、コミュニケーションを多くとり入れる事で、ご家族の思いや意向を聴く事ができ、ご本人と一緒に支えていく事ができるようになってきている。</p>		<p>事業所の方から連絡、声かけをしてみる。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>可能な限り外出や、外泊を進めている。行事などある時はご家族に案内を送り一緒に過ごせる時間を設けるようにしている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人の希望により、外出を進めたり、面会に来られた時は場所を提供し馴染みの関係が継続できるよう努めている。</p>		<p>今までの生活暦の中での、馴染みの関係者の把握をするようにする。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>一人ひとりの意見を尊重した上で共同生活が円滑にできるように努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>何かあった時はご連絡下さいと伝えてはいますが、今のところ契約終了（退去）したご家族との連絡はない状態。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中でできる限り多く声かけをし一人ひとりの意向を尊重している。</p>		<p>担当職員を中心に、利用者一人ひとりの希望に対応できるよう努めていく。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居する前にできる限り多くの情報(生活暦・生活環境)を聴いて、利用者一人ひとり把握するよう努めている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活のリズム(起床・食事・睡眠・排泄)を把握するよう努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の関わりの中で本人やご家族の意見を聞いて、介護計画を作成するようにしている。</p>		<p>定期的に、ご本人・ご家族との面談を行い、生活の中での希望を取り入れるようにしていく。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書の期間に応じて見直しを行っている。状況が変化した時は都度見直しを行うようにしている。</p>		<p>状況に変化が見られた時は、ご家族との意見交換をし、計画書の見直しを行う。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録で利用者一人ひとりの健康状態や、暮らしを職員全員が把握できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関からの定期的な往診、通院、入院時などの付き添い対応等、ご家族の状況に合わせて対応するよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向などをお聞きし地域や周辺施設への働きかけやボランティアへの協力を呼びかけている。		民生委員やボランティアなどの連携を強化し、利用者へのサービス向上に努めていく。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人・ご家族の意向に応じて他の事業所や施設と連携をとるように努めている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて相談させていただいていますが、入居者の権利擁護やケアマネジメントについて地域包括支援センターとの協働はされていない。		地域包括支援センターとの連携を図り、協働して意見交換を行っていきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望するかかりつけ医にしている。施設の協力医療機関については、月2回往診していただいているため希望される方が多い。協力医療機関の受診については施設で対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医と相談して、必要に応じて専門医の受診ができるように支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設内に看護職員を配置しており、かかりつけ医と連携を取るようになっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後 ご家族や、医療機関との連絡をとるようにし、情報交換に努めている。担当職員がお見舞いに行くなどして退院後に備えるようになっている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期においては、ご家族の意向を確認した上で、かかりつけ医と相談し事業所が対応し得るケアについて話し合いを行う。		終末期のケアについて、医学的な知識、技術について勉強会を開いていきたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人・ご家族の意向を踏まえた上で、かかりつけ医と相談したうえで事業所としてできること・できないことを見極めて対応するようにする。		同上
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族としっかりと話し合いを行い、本人への説明は、できる限り混乱せず、ダメージが少ない方法を取り入れるようにする。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報については規程を設けて十分注意しているが、職員全体での共通認識がされていない。</p>	<p>個人情報の管理について職員全体で共通認をもって注意していく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>外出などできる限り本人の意向を組み入れるように努めている。</p>	<p>外出等職員が決めている事が多いので、利用者の希望も組み入れられるように勤めていく。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>だいたいの一日の生活のリズムは決まっている。その中で利用者が行いたい事などを組み入れるように努めている。</p>	<p>業務中心でなく、できる限り利用者の希望に合わせたペースで日常生活が支援できるようにしていく</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>身だしなみはご本人が行って、出来ない人や、出来ていない部分については職員が援助するようにしている。理・美容は、希望者は資格を持った人が施設にきていただき、ご本人の希望がある場合はご家族にお願いするようにしている。</p>	<p>常に身だしなみには注意していく</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>声かけをし、出来る事は一緒に手伝っていただくようにしている。メニューについては、バランスを考えた上で本人の希望を組み入れるように努めている。</p>	<p>現在は、厨房での調理が中心だが、できる事は利用者と一緒に作業していくようにする。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>今はお酒や、たばこを好む方はいないが、希望がある時はできるだけ本人の意向を尊重するようにしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄リズムを理解し、声かけ誘導をする事で、トイレでの排泄が増え、オムツの使用が減るよう努めている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的には、一日おき位に入浴していただいているが、希望のある方については対応するようにしている。時間については、午後2時すぎ位から夕方までの間に行っている。</p>		<p>利用者の希望に合わせた入浴が提供できるように努めていく。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活パターンを把握し、日々状況に合わせて支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>コミュニケーションを多く取り入れ、本人の生活歴や望んでいる事などを理解し対応するように努めている。</p>		<p>利用者の生活歴などから、楽しみを見つけ、サービスの提供に努めていく。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的に大金は所持しないようにしていただいているが、自己管理できる方はいくらか持っている。買い物など自由に使える場所に行く事がなかなかできていない。</p>		<p>本人が買い物を楽しめるように努めていく</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日などはできる限り散歩に行くようにしている。買い物など一緒に行く機会もあるが、回数的には少ない。</p>		<p>散歩や買い物だけでなく、地域の活動に参加していく。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>お花見やドライブ、公共施設への利用など行っている。個別の希望などについてはご家族にお願いするようにしている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が電話をかけたいと希望している時は、施設の電話を利用していただいている。手紙を書く人は今のところはいない。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者とは積極的に会話を交わすようにし、ご本人と話しやすい場所を提供するように努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についてある程度の把握はされているが、細かい点については理解されていない。		身体拘束についての理解を深め、職員間で共通の認識がされるようにする。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一階の玄関については、外からは自由に入れるが、中から出る時は鍵がかかっている。居室の鍵はついていないが、基本的には使用していない。		職員間の連携を深め、できる限り鍵をかけない環境へと取り組んでいきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はフロアー内を中心に様子観察をし、夜間は一時間おきに見回りをし安否確認をしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状況に合わせて、自己管理するものと、手の届かないような場所で管理するものを分けている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的に勉強会を実施し、職員の知識向上に努めている。		定期的に勉強会を実施していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	初期対応について話し合いは行われているが実際に訓練は行えていない。		消防職員を派遣していただき、緊急時の対応など勉強をする機会を作っていく。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防災・避難訓練を行い災害時の勉強をしている。運営推進会議を通して地域の方との連携をとれるよう勧めている。		地域との交流を増やし、災害時には協力していただけるような関係を作っていく。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の状況を説明し、ご家族の希望を組み入れた上で、介護を進めていく中でのリスクについて説明し援助していくように努めている。		ご家族と細かい点でも話せるような関係を作っていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック、食事摂取量等を把握し、異変があった時は協力医療機関と相談し、必要な指示を仰ぐようにする。		利用者の何気ない変化やに注意するようにする。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個人のファイルに保管し、情報を参照するようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事の内容や、水分を多くとるようにしている。必要な人については排便のチェックをし、下剤や浣腸をしている。		できる限り自然排便を心がけた日常生活の支援を行う。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアの介助、声かけを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要に応じて、食事糧や水分摂取量をチェックしている。食事量が少ない方は栄養のある物を提供するようにし、水分摂取量の少ない方は飲みやすいものを提供するなどこまめに促すようにしている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ペーパータオルの使用や手洗いうがいを徹底している。排泄介助の時はディスポの手袋を使用している。		感染症に対する勉強会を実施し、職員間の認識を共有する。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生的に保つように、調理用具等は定期的に漂白剤につけている。遅番勤務者が夕食後のゴミ片付けと、食材の点検を行うようにしている。		マニュアルを作成し衛生管理に十分注意していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関付近に花を植えるようにしたり、菜園を設けて野菜を作っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や、フロア内に季節ごとの花を飾ったり、行事ごとの飾りつけをするようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話コーナーにはソファがあり、他の利用者やご家族と囲らんとできるようになっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、ベッドやタンス、カーテンは備え付けであるが、ご本人の希望によって使い慣れたものなど自由に持ち込んで		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	汚物などは一つひとつ袋に入れてにおいがこもらないように注意している。温度調節はフロアーに温湿度計を設置しこまめに対応するようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーになっており、手すりや、エレベーターも設置されており、車いすの方でも生活しやすいようになっている。		一人ひとりができるだけ自立した生活が送れるような環境を整えていきたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや自室など分かりやすいように目印や字を大きくして、混乱や失敗のないようにしている。		個人のわかる力、できる力を活かせるような環境を整えていきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	2Fには大きなバルコニーを設けてあり、自由にでて楽しむ事ができる。1Fの敷地内には菜園を設けており、職員と一緒に野菜を作って楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)